

## 法学部・法務研究科専任教員 2010年度研究業績

青木 孝之 法務研究科教授

### 【学術論文】

「裁判員裁判における量刑の理由と動向(上)・(下)」(『判例時報』2073号, 同2074号 2010. 6)

「アメリカの刑事手続素描(1)—ミシガン州ウェイン郡の実務を題材に—」  
(『駿河台法学』第24巻1・2合併号 2010. 9)

### 【学会報告その他】

第88回日本刑法学会ワークショップ「被疑者取調べの録音録画をめぐる」  
に話題提供者(報告者)として登壇

判例評釈「裁判員裁判対象事件1件(強盗致傷)及び非対象事件7件(強盗等)につき, 区分審理及び部分判決を行った事例」(『刑事法ジャーナル』第26号 2010.12)

### 【現在の研究テーマ】

裁判員制度, 刑事法制度論

秋池 宏美 教授

### 【現在の研究テーマ】

子どもの人権とジェンダー

天野 武男 教授

### 【学会報告その他】

#### 【翻訳】

*Seisho Kyouiku* (April-May-June 2010): The Word of Jesus Is Our Life: Worship

Lessons 8, 9, 10 (pp. 22-30) The Church Built on the Lives to Confess Japan Baptist Convention, Saitama, Japan, 2010

*Seisho Kyouiku* (July–August–September 2010): Trusting in the God of Blessing Prayer

Lessons 22, 23, 24 (pp. 27–35) Tell the Next Generation the Wonders of God Japan Baptist Convention, Saitama, Japan, 2010

*Seisho Kyouiku* (October–November–December 2010): Inviting Friends and Offering: Let the Grace of Life Shine

Lessons 35, 36, 37 (pp. 25–34) Nothing Separates Us from Love of God Japan Baptist Convention, Saitama, Japan, 2010

*Seisho Kyouiku* (January–February–March 2011): Worship: Only to the Lord our God

Lessons 48, 49, 50 (pp. 25–33) The Death of King Hezekiah Japan Baptist Convention, Saitama, Japan, 2011

## 石田 信平 准教授

### 【著書】

『判例サムアップ』（共著，弘文堂，2011. 4）

### 【学術論文】

「アメリカSOX法の内部通報制度とEU個人情報保護原則の衝突」（『比較法文化』第18号 2010. 5）

「労働契約法の「合意原則」と合意制限規定との衝突関係——労働契約法は契約当事者だけの利益調整を目的としているのか」（『日本労働法学会誌』第115号 2010. 5）

「労働者の内部通報をめぐる法的諸問題」（『季刊労働法』第230号 2010. 10）

### 【学会報告その他】

（紹介）「ドイツ労働協約に対する基本権，比例原則，信頼保護原則の適用」（『労働法律旬報』第1728号 2010. 9）

「学界回顧」（『法律時報』第82巻13号 2010. 12）

### 【現在の研究テーマ】

労働契約の一般的理論

労働者の内部告発

労働契約終了後の競業禁止義務

**伊藤 行紀 教授**

**【学術論文】**

「留学生の資格外活動と退去強制」(『法律時報』第82巻5号 2010)

**【現在の研究テーマ】**

2010年度基盤研究(B)に採択された「外国人の出入国及び在留制度とその運用に関する国際的比較研究」(大阪大学大学院国際公共政策研究科村上正直教授ほか6名の共同研究)の研究分担者として、英国移民法と我が国の出入国管理法の比較研究を行っている。

**井上 久士 教授**

**【学会報告その他】**

「中国人戦後補償裁判の15年」抗日戦争史学会総会にて(北京)(2010.8)

**【現在の研究テーマ】**

中国近代政治史, 代日中関係史

**岩井 俊 法務研究科教授**

**【著書】**

「不動産訴訟の実務(七訂版)(共著 新日本法規出版 2010.10)

「家事財産給付便覧」(改訂版)(共著 新日本法規出版 2010.12)

**【学術論文】**

「民事控訴審において期待される訴訟代理人の役割」(東京弁護士会 弁護士研修講座 2010.12)

**【現在の研究テーマ】**

民事訴訟の実務上の問題

**海老澤 豊 教授**

**【著書】**

『頌歌の詩神～英国十八世紀中葉のオードを読む』(国文社 2010.10)

**【学術論文】**

「トマス・ウォートンのドイツ牧歌集」(『駿河台大学論叢』第41号 2011.1)

**【現在の研究テーマ】**

十八世紀英文学研究

**王子田 誠 教授**

**【学会報告その他】**

判例評釈①「有価証券報告書虚偽記載による上場廃止・株価下落に対して一般投資家が集団でなした損害賠償請求事件」(『龍谷法学』第43巻2号)

判例評釈②「会社代表者のリスク管理体制構築義務と有価証券報告書の不实記載による会社の責任」(『金融商事判例』1353号)

**【現在の研究テーマ】**

流通市場における発行会社の不实開示責任のあり方

**太田 幸夫 教授**

**【学会報告その他】**

(判例評釈)「法人税の確定申告において配当等に係る所得税額控除の計算を誤って控除金額を過少に記載したことを理由とする更正の請求が認められた事例(最判平21.7.10)」(『平成21年度主要民事判例解説』別冊判例タイムズ29号 2010.9),「建物譲渡による損失について損益通算を廃止した租税特別措置法を公布日前の譲渡に遡及適用することが憲法84条の趣旨に反しないとされた事例(福岡高判平20.10.21)」(『平成21年度主要民事判例解説』別冊判例タイムズ29号 2010.9)

日本民事訴訟法学会シンポジウム「民事裁判の審理における基本原則の再検討」における質疑参加(2010.5)

**【現在の研究テーマ】**

民事・行政紛争解決手続

法曹倫理

**大沼 洋一 法務研究科教授**

**【現在の研究テーマ】**

行政訴訟の原告適格と主張制限

**大録 英一 教授**

**【学術論文】**

「入札談合の基本合意と個別調整」(『駿河台法学』第24巻1・2合併号  
2010.9)

**【現在の研究テーマ】**

独禁法の理論的研究

**小貫 幸浩 法務研究科教授**

**【学術論文】**

「〈自由の条件としての国家〉と現代憲法学」(『憲法学の未来』憲法理論研  
究会編・憲法理論叢書<sup>⑱</sup> 敬文堂 2010.10)

**【学会報告その他】**

憲法理論研究会春期研究総会報告(名城大学 2010.5)

**【現在の研究テーマ】**

主としてドイツを中心とした人権法源の基礎研究

**織田 博子 法務研究科教授**

**【著書】**

『新・条文にない民法 概念・制度がもっとよくわかる』(共著 日本評論  
社 2010.12)

**【学術論文】**

「代表」『代理の研究』(日本評論社 2011.3)

「条件整備的教育裁判—学校事故裁判を中心として」(『日本教育法学会年報』  
40号 2011.3)

**【学会報告その他】**

「条件整備的教育裁判—学校事故裁判を中心として」平成日本教育法学会シ  
ンポジウム第二分科会=教育裁判と教育法学(2011.5)

**【現在の研究テーマ】**

学校事故問題の契約法的検討

**上河内 千香子 准教授**

**【著書】**

『新・条文にない民法 概念・制度がもっとよくわかる』（共著 日本評論社 2010.12）

**【学会報告その他】**

判例評釈「担保不動産収益執行の開始後における保証金返還請求権と賃料債権の相殺 [最二判平成21・7・3]」（『金融商事判例』1341号 2010.5）

**【現在の研究テーマ】**

共同所有の研究  
担保の研究

**菊田 秀雄 准教授**

**【学会報告その他】**

判例評釈「商事法判例研究 株主総会決議を経ないで支給された退職慰労金にかかる不当利得返還請求の許否 [最二判平成21.12.18]」（『金融商事判例』1356号 2011.1）

判例評釈「判例解説 株式会社の新設分割と詐害行為取消 [東京高裁平成22.10.27判決]」（『月刊監査役』580号 2011.2）

翻訳（共著）「イギリス2006年会社法(9)」（『比較法学』第44巻2号 2010.12）

その他（共著）「トラブルのないスポーツ団体の運営のために～ガバナンスガイドブック」一般財団法人日本スポーツ仲裁機構（2011.3）

**【現在の研究テーマ】**

EUおよびEU構成国における会社法の現代化に関する比較法的研究

**北原 仁 教授**

**【著書】**

翻訳書『憲法訴訟法—ヨーロッパとラテン・アメリカにおける学問としての起源と発展』（成文堂）

**【学術論文】**

「占領と憲法—カリブ海諸国とフィリピン(2)」（『駿河台法学』第24巻1・2合併号）

「占領と憲法—カリブ海諸国とフィリピン(3)」(『駿河台法学』第24巻3号)

**【学会報告その他】**

判例評釈「行政判例研究880 市の発注した工事に関し談合したとされる業者らに対して市長が不法行為に基づく損害賠償請求を行使しないことが違法な怠る事実にあたらないとした原審の判断に違法があるされた事例」(『自治研究』第86巻12号)

自治調査会・市町村職員研修所「第2部調査研究発表」調査研究発表フォーラム「自治体における債権管理のあり方～債権の発生から消滅までを考える」(7月30日) 於 東京自治会館講堂

**草地 未紀 准教授**

**【学術論文】**

「高齢消費者被害の発見とその救済(2・完)」(『駿河台法学』第24巻1・2合併号 2010.9)

**【学会報告その他】**

(判例研究)

「専願等を資格要件としない大学の推薦入学試験に合格した者が入学年度開始後に在学契約を解除した場合において、いわゆる授業料等不返還特約が有効とされた事例 [最判平成22.3.30]」(『現代消費者法』9号 2010.12)

**【現在の研究テーマ】**

金利規制の比較法的研究

高齢消費者被害における公私協働型救済システムの構築について

**熊田 俊郎 教授**

**【著書】**

「中国都市の公共空間試論—ギルド会館，広場，住宅団地及び『公共建築』をめぐって」『東アジアにおける公共性の変容』(慶應義塾出版会，2010.6)

**【現在の研究テーマ】**

大都市郊外社会の形成，中国の都市社会，公共性の研究

**倉島 安司 准教授**

**【現在の研究テーマ】**

公法上の損失補償

**黒田 基樹 准教授**

**【著書】**

『武蔵大石氏〈論集戦国大名と国衆1〉』（編書，岩田書院 2010. 5）

『戦国遺文 房総編 第1巻』（共編書，東京堂出版 2010. 5）

『北条氏邦と武蔵藤田氏〈論集戦国大名と国集2〉』（共編書，岩田書院  
2010. 7）

『戦国大名（別冊太陽 日本のこころ171）』（監修，平凡社，2010. 9）

『武蔵三田氏〈論集戦国大名と国衆4〉』（編書，岩田書院 2010. 12）

『武田信長〈シリーズ・中世関東武士の研究2〉』（編書，戎光祥出版，  
2011. 1）

**【学術論文】**

「長尾景仲の兄小五郎とその周辺」（『埼玉地方史』第63号 2010. 4）

「小田原北条氏と古河公方足利氏の取次関係」葛飾区郷土と天文の博物館編

『葛西城と古河公方足利義氏』（雄山閣出版 2010. 5）

「真里谷武田信嗣をめぐる婚姻関係」（『戦国遺文房総編月報』1号 2010. 5）

「史料紹介・上杉顕定文書集」（『駿河台大学論叢』第40号 2010. 7）

「北条氏照とその領国支配」（『多摩のあゆみ』第139号 2010. 8）

「戦国期安中氏の動向」安中市学習の森ふるさと学習館編『西上州の中世』  
(2010. 10)

「下野国衆と小田原北条氏」栃木県立文書館編『戦国期下野の地域権力』岩  
田書院 (2010. 11)

「史料紹介・上杉憲房・憲寛文書集」（『駿河台大学論叢』第41号 2010. 12）

「古河・小弓両公方家と千葉氏」（『佐倉市史研究』第24号 2011. 3）

「戦国期の千葉氏御一家」（『千葉いまむかし』第24号 2011. 3）

**【現在の研究テーマ】**

日本中近世移行期社会論

**島 伸一 法務研究科教授**

**【著書】**

『たのしい刑法Ⅱ各論』（編著 弘文堂 2011. 3）

**【現在の研究テーマ】**

日米の刑事法の研究

刑事実務全般にわたる日米の比較検討と、司法取引、保釈、取調べ、公判前整理手続、裁判員裁判・陪審などをめぐる個別的諸問題の研究

**庄子 良男 法務研究科教授**

**【学術論文】**

「手形行為独立の原則の再考察」韓国経営法律学会編『経営法律第21輯第2号（横川李基秀先生停年記念号）』。拙書『ドイツ手形法理論史』下巻（2001年 信山社）所収の同名の論文を、韓国高麗大学の李基秀教授の退官論文集に、韓国大真大学の洪裕碩教授がハンゲルに翻訳して掲載し、韓国において発表されたもの

**【学会報告その他】**

翻訳「オッター・フォン・ギールケ『ドイツ団体法論』第一巻(3)」（『駿河台法学』第24巻1・2合併号 2010. 9）

**【現在の研究テーマ】**

法科大学院の講義との関係で、商法、会社法、手形法の解釈学的研究、および、それを基礎とする法人論、手形理論などの基礎的研究を進めている

**高橋 直哉 法務研究科教授**

**【学術論文】**

「応報概念の多様性」川端博・椎橋隆幸・甲斐克則編『立石二六先生古稀祝賀論文集』（2010. 7）

「刑罰の定義」（『駿河台法学』第24巻1・2合併号 2010. 9）

「安全の論理と刑事法の論理」（『法学新報』第117巻7・8号 2011. 3）

**【学会報告その他】**

「平成22年版犯罪白書を読んで—近時の犯罪情勢について考える—」（『法律のひろば』2011年1月号 2011. 1）

「火災原因の調査, 判定に関し特別の学識経験を有する私人が燃焼実験を行ってその考察結果を報告した書面について, 刑訴法321条3項は準用できないが, 同条4項の書面に準じて同項により証拠能力が認められるとされた事例」『判例評論615号 [判例時報2069号]』(2010. 5)

**【現在の研究テーマ】**

刑事法の基礎理論, 刑法哲学

**竹内 俊雄 教授**

**【学会報告その他】**

重要判例解説71「過失相殺」用地ジャーナル(大成出版社)2010年5月号(2010. 4)

重要判例解説72「損益相殺」用地ジャーナル(大成出版社)2010年6月号(2010. 5)

重要判例解説73「請求権の競合」用地ジャーナル(大成出版社)2010年7月号(2010. 6)

重要判例解説74「受領遅滞」用地ジャーナル2010年8月号(2010. 7)

重要判例解説75「債権者代位権行使の範囲」用地ジャーナル(大成出版社)2010年9月号(2010. 8)

重要判例解説76「債権者を害する行為」用地ジャーナル(大成出版社)2010年10月号(2010. 9)

重要判例解説77「特定物売買における売主の保証人の責任」用地ジャーナル(大成出版社)2010年11月号(2010. 10)

重要判例解説78「債権の二重譲渡における優劣の基準」用地ジャーナル(大成出版社)2010年12月号(2010. 11)

重要判例解説79「譲渡禁止特約と重過失ある第三者」用地ジャーナル(大成出版社)2011年1月号(2010. 12)

重要判例解説80「意義を留めない承諾と悪意」用地ジャーナル(大成出版社)2011年2月号(2010. 1)

重要判例解説81「口頭の提供も要しない場合」用地ジャーナル(大成出版社)2011年3月号(2011. 2)

重要判例解説82「詐称代理人と債権の準占有者への弁済」用地ジャーナル(大

成出版社) 2011年4月号 (2010. 3)

【現在の研究テーマ】

- 1 非典型担保の研究
- 2 利息制限法の研究

千草 孝雄 教授

【学術論文】

「比較地方自治研究序説」(『駿河台法学』第24巻1・2合併号 2010. 9)

「比較地方自治研究の展開」(『駿河台法学』第24巻3号 2011. 2)

【現在の研究テーマ】

行政責任論, 現代アメリカの地方政府

辻 雄一郎 准教授

【著作】

「日本における環境責任について」(共同執筆)『Environmental Law and Policy』(江原大学編 2010.10) 所収

【学術論文】

「選挙活動と表現の自由に関する考察 2010年シティズンユナイテッド判決を中心に」(『駿河台法学 (河上和雄・日野正晴教授退職記念号)』第24巻1号 2010) (平成22年特別研究費採択研究)

「The Legal Issues on Environmental Administrative Lawsuits under the Amendment of ACLA in Japan」Yonsei Law Journal, Vol. 2 (2010).

(共同執筆 宮川成雄・角田雄彦・辻雄一郎)「アメリカ法科大学院協会の臨床法学大会参加報告」(『法曹養成と臨床教育』No. 3 日本加除出版 2010)

「The Primary Issue in Environmental Litigation in Japan—Chemical Substances—in 2009」(英語) Comparative Law Journal (2010) (Judiciary of Thailand).

【学会報告そのほか】

翻訳「ウィリアム・A・フレッチャー裁判官：アメリカ司法部の構成と裁判官の任命 The Structure of the American Judiciary and the Appointment of Judges by William A. Fletcher」(『駿河台法学 (河上和雄・日野正晴教授

退職記念号)』第24巻1・2号 2010年)

翻訳「ウィリアムAフレッチャー アメリカ連邦憲法上の第一修正の保護について」(『早稲田大学比較法学』第44巻2号 2010)

報告「Independence of the Judiciary and Judges in Japan」比較法研究所主催 第十七回公開講演会 (2010. 6. 1)

通訳及びコーディネート「タイランド王国司法省最高裁長官の日本最高裁長官訪問」(2010. 8. 26)

### 鶴田 六郎 法務研究科教授

【現在の研究テーマ】

企業犯罪と法

### 長岡さくら 専任講師

【学術論文】

「大陸棚限界委員会への延長申請と第三国の対応」(『駿河台法学』第24巻1・2号 2010. 9)

「日本の調査捕鯨と国際司法裁判所への提訴」(『福岡工業大学環境科学研究所平成22年度環境研究発表予稿集』2011. 3)

【学会報告その他】

研究報告「日本の調査捕鯨と国際司法裁判所への提訴」(福岡工業大学環境科学研究所平成22年度環境研究発表会、於 福岡工業大学、2011. 3)

【現在の研究テーマ】

条約法, 紛争解決, 海洋国際法

### 中谷 崇 専任講師

【現在の研究テーマ】

私法上の錯誤

### 成田 憲彦 教授

【学術論文】

「議会制度一二〇年を振り返る—帝国議会以来の変遷から何を汲み取る

かー」『改革者』(2010.11)

**【学会報告その他】**

識者評論 (政権動向) (共同通信配信記事 2010.4.9)

「官のネットワーク構築を(普天間基地問題)」(『朝日新聞』2010.5.29)

「『小鳩』が落ちた(鳩山首相退陣)」(『朝日新聞』2010.6.3)

「次期代表,問われる対小沢(鳩山後継問題)」(『日本経済新聞』2010.6.3)

「『脱小沢』新政権のカギ(鳩山後継問題)」(『読売新聞』2010.6.6)

「生活に照らして評価を一流動政治の視点」(『信濃毎日新聞』2010.6.20)

「菅代表再選と今後の政局(視点・論点)」(NHK教育テレビ 2010.9.15)

「小沢氏,強制起訴へ—政権に影響少ない」(『朝日新聞』2010.10.5)

「イミダスeライブラリー」(「国会」の項 2010.11)

**【現在の研究テーマ】**

政治制度の研究,現代日本政治の動向分析

**西川 敏之 教授**

**【学術論文】**

“Healthcare Reform under the New Japanese Government from a Comparative Perspective” (『比較法文化』第19号 2011.3)

**【学会報告その他】**

学会報告:

“The Strained U.S.-Japan Alliance and its Future in the Changing International Environment” 第10回国際比較学際研究ミレニアム会議 2010年7月4日～5日, イタリア・ベネチア

“Healthcare Reform under the New Japanese Government from a Comparative Perspective” 2010年アメリカ政治学会年次学会, ワシントンDC 2010年9月2日～5日

**【現代の研究テーマ】**

グローバル化と国際関係,国際関係論の理論,医療制度改革—英米日三カ国の比較研究—,現代イギリスの選挙政治,アメリカ大統領の業績と評価

**長谷川 裕寿 准教授**

**【学術論文】**

「殺人とRJ」細井ほか編『修復的正義の今日・明日—後期モダニティにおける新しい人間観の可能性』（成文堂 2010）

**【学会報告その他】**

第6回RJ全国交流会（2010年6月13日：於早稲田大学）報告「日本におけるRJ実現の可能性」においてファシリテータを務める

**【現在の研究テーマ】**

刑罰論，修復的司法，刑法における情操

**實金 敏明 法務研究科教授**

**【学会報告その他】**

「土地家屋調査士制度制定60周年記念・公開講演会」講演録  
演題；「(旧) 法定外公共物に関する境界の諸問題」（2010. 7. 30）  
同 ；「境界をめぐる諸問題Q & A」（2010. 9. 18）

**【現在の研究テーマ】**

1. 「任意後見制度の理論と実際」（仮称）編著（執筆中）（含む・民事信託制度の活用）
2. 境界確定訴訟を悩ます「公物管理界」の存在について（執筆中）
3. 東日本大震災の震災地における土地境界の認定（共同研究中）
4. デジタル情報の「文書」としての特定性

**朴 昌明 准教授**

**【学会報告その他】**

（シンポジウムの討論者）

慶應義塾大学東アジア研究所現代韓国研究センター主催国際シンポジウム  
「変動する韓国社会の争点—労働市場と高齢社会」（7月24日），第1セッション「労働市場の変化と貧困課題」

（辞典の項目執筆）

『在日コリアン辞典』国際高麗学会日本支部「在日コリアン辞典」編纂委員会編（明石書店，2010.11）〔在日韓国青年会・在日韓国学生会・在日の就職

問題について執筆]

【現在の研究テーマ】

韓国の労働事情と社会政策

マーティン・A・フォールズ 准教授

【現在の研究テーマ】

1764年頃に江戸から離れて、25年余りの間、越後地方で活躍した徳川幕府の表絵師の狩野梅笑（1727～1807）。特に長岡藩の牧野家、新発田藩の溝口家に依頼されて、寺院や豪農等で絵を教える等して幅広く美術の世界に影響を与えた彼の画家としての役割、技能、画風などを深く理解する為の研究。

又、30年間、関東地方、関西地方で活躍した丹後田辺藩の御用絵師鈴木南嶺（1775～1844）についても同様の研究をつづけております。

福田 二郎 教授

【著書】

『アルプスの少女ハイジの文化史』（国文社、2010. 8）

【現在の研究テーマ】

英国詩・小説について、ヒューマニズム思想について

松平 光徳 准教授

【現在の研究テーマ】

著作権法の歴史と現代的課題

宮下 紘 准教授

【学術論文】

「アメリカ最高裁の判決を読む（2009-10年開延期）」（『駿河台法学』第24巻3号 2011. 2）

「プライバシーをめぐるアメリカとヨーロッパの衝突(1)」（『比較法文化』第18号 2010. 3）

「国民の知る権利と政府の説明責任のあいだ」（『比較法文化』第18号 2010. 3）

【学会報告その他】

共訳書『アメリカ憲法への招待』リチャード・H・ファロンJr. 著 (三省堂 2010. 8)

書評「データ監視とプライバシーの再構成：MARTIN KUHN, FEDERAL DATAVEILLANCE」(『アメリカ法2009-2』2010)

消費者庁『諸外国における個人情報保護制度の監督機関に関する調査・報告書』(2011. 3) [フランス・スウェーデン担当執筆]

国際会議口頭発表「Diplomacy of Privacy: Liberty and Dignity」Centre d'Étude Multiculturelle (2011年3月19日, フランス・パリ Maison du Japon, Cité Universitaire)

国際会議口頭発表「*Emerging Trends in Medical Research: Personalized Medicine*」The 32<sup>nd</sup> International Conference of Data Protection and Privacy Commissioners (2010年10月28日, イスラエル・エルサレム)

国際会議口頭発表「*Implications for Policy Making*」OECD Conference; The Evolving Role of the Individual in Privacy Protection: 30 Years after the OECD Privacy Guidelines (2010年10月26日, イスラエル・エルサレム)

国際会議口頭発表「憲法の私人間効力論の比較法的考察」International Round Table Symposium of Institute of Legal Studies (2010年10月14日, 韓国・テグ Yeungnam University)

国際会議口頭発表「*Japan's shift to supervise national privacy policy in the Consumer Affairs Agency & Japan's view on the Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC) privacy process*」23<sup>rd</sup> Privacy Law & Business Annual International Conference (2010年7月5日, イギリス・ケンブリッジ Cambridge University, St. John's College)

【現在の研究テーマ】

憲法における公と私, プライバシー・個人情報保護, アメリカ最高裁の動向

吉田 恒雄 教授

【学術論文】

「親権法の見直し—児童虐待防止に関する親権制度改正の経緯と課題」(『そだちと臨床』第8号 2010. 4)

「親権制度見直し研究会で何が議論されたのか」(『子どもと福祉』第3号  
2010. 6)

**【学会報告その他】**

「児童虐待の援助法に関する文献研究(第5報) 児童虐待に関する法制度お  
よび法学文献資料の研究第4期(2004年5月から2007年6月まで)」(編著)

『子どもの虹情報研修センター報告書』(2010. 11)

**【現在の研究テーマ】**

児童虐待防止に関する法学的研究

被措置児童等虐待に関する法学的研究

**米山 哲夫 教授**

**【学会報告その他】**

百科事典 ニッポニカ(改訂版)「刑事政策」の項

**【現在の研究テーマ】**

刑事政策の学問的体系